

令和8年度 佐倉市立下志津小学校 学校経営の概略

1 学校教育目標〔どんな子どもたちを育てるかⅠ〕

「よく学び、心豊かで、たくましい子どもの育成」

変化の激しい現代社会において、生き抜く力をどうつけるか。子どもたちの10年先の姿をイメージし、下志津小学校で過ごす子どもたち一人ひとりの人生の礎につながるように、ここに学校教育目標を掲げる。私たちは子どもたちの健やかな成長を全力で支援する教師集団として、本目標の具現化に真摯に取り組んでいくことを誓う。

2 目指す子ども像〔どんな子どもたちを育てるかⅡ〕

- 〔知〕 目標をもち、あきらめずにやり抜く子ども
- 〔徳〕 感謝の気持ちをもって生活できる子ども
- 〔体〕 心と体が健康でたくましい子ども



3 目指す下志津小学校像〔どんな学校にしたいのか〕

- ・児童にとって通うのが楽しみな学校
- ・安心、安全で保護者が子どもを通わせたい学校
- ・職員にとって働きがいのある学校

4 目指す下志津小学校の教職員像〔全教職員に必要な仕事に向き合う基本姿勢は何か〕

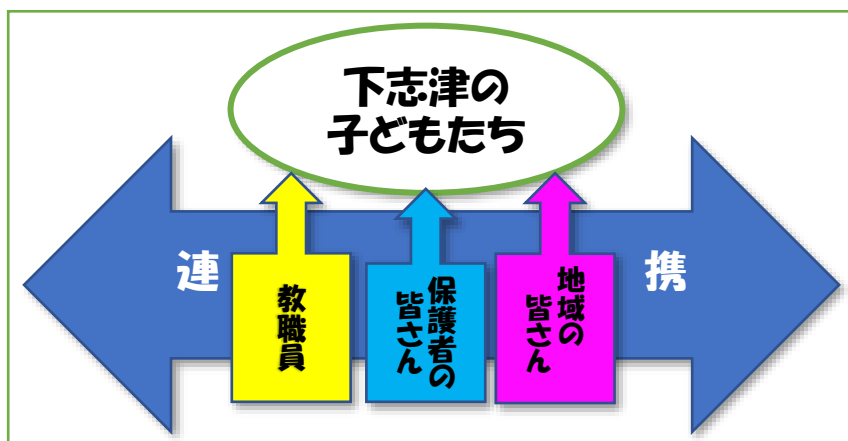
- ・下志津小の全ての子どもを大切に、支援する教職員
- ・教育に携わる者としての誇りと情熱をもち、学び続ける教職員
- ・多様な価値観を尊重しあい、人間としての魅力を生涯にわたって高める教職員

5 基本方針

〔経営としての力の入れどころや留意点は何か 大切にしていこう考え方・姿勢〕

- (1) 子どもたちに現代社会を生き抜く力をつけるため、「子どものためになるかどうか」を基本とすることと併せ、「“当たり前”の見直し」を大切に、教職員の Well Being を踏まえて判断基準としていく。
- (2) 子どもたちの心身の安全、安心を担保しつつ、下志津小学校の過去・現在と未来を融合させた「新しい下志津スタンダード」を構築・実践していく。

- (3) 「学校運営協議会」の機能を生かし、学校教育、家庭教育、社会教育のそれぞれの役割を確認しながら、「持続可能な連携」の在り方を検討・構築していく。



6 経営の重点

[学校教育目標の実現のために、経営上力を入れる観点は何か]

- (1) [知] 確かな学力の向上
基礎的・基本的な内容の定着と学習者としての児童の能力の向上
- (2) [徳] 豊かな心の育成
道徳教育、人権教育の推進 望ましい集団活動の推進と自主的・実践的な態度の育成
- (3) [体] 健やかな体の育成
基本的な生活習慣の確立 心身の健康の推進（自分を知る力の向上）
- (4) 持続可能な地域連携
“持続可能”な形による、保護者・地域の教育力との連携
- (5) 教職員の心身の健康保持（働き方改革を含める）

7 経営の重点に基づく実践内容 ※下線は今年度の重点事項

- (1) [知] 確かな学力の向上
 - ① 主体的・対話的で深い学び
 - ・指導と評価の一体化 ・思考する場面を設定した授業づくり
 - ・「チャレンジタイム」のさらなる充実（時数カウントできる授業の構築）
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ② つけたい力の明確化及びユニバーサルデザイン視点による授業づくり
 - ③ 言語活動の充実
 - ・読書活動のさらなる充実〔朝読書〕 ・授業の振り返りを自分の言葉で書く
 - ・教科書の内容を読解できる言語能力の向上 ・言葉の活用場面を意識する。
 - ④ 目的を明確にした ICT 機器の活用
 - ・タブレットの基本操作習得 ・全学級教科学習における利用
 - ・授業における一人一台端末の積極的活用
 - ⑤ キャリア教育の推進
 - ・キャリアパスポートの積み重ね ・外部講師による啓発授業 ・佐倉学の実践
- (2) [徳] 豊かな心の育成
 - ① 望ましい集団の形成、よりよい人間関係の構築、成功体験の充実
 - ・児童会活動 ・委員会活動 ・縦割り活動 ・合唱、集会活動の充実
 - ② 道徳教育の充実
 - ・「道徳科」35時間完全実施 ・「道徳科」授業の相互参観、可能な範囲での公開
 - ・道徳科 A-4「個性の伸長」 B-6「親切、思いやり」の重点的実践
 - ③ 生徒指導の充実
 - ・全職員による指導体制の充実 ・教育相談の充実 ・規律ある生活態度の定着
 - ④ 特別支援教育の充実・推進
 - ・校内体制の充実 ・通常学級との連携強化 ・外部機関との連携 ・教職員の研修

- ⑤ いじめ防止対策の強化
 - ・全職員による生徒指導情報連携、行動連携 ・未然防止を意識した教育実践
 - ・初動対応の統一

(3) [体] 健やかな体の育成

- ① 体力・運動能力の向上
 - ・外遊びの推奨 ・正課体育の充実
- ② 心の健康教育の充実と保健管理の徹底
 - ・早寝、早起き、朝ご飯
 - ・基本的な生活習慣の質的向上を意図した保健教育（「睡眠」を中心に）
 - ・感染症拡大防止対策
- ③ 自校給食による食育の一層の推進
 - ・豊かで安心、安全な給食の実施 ・食の情報発信 ・地産地消の推進
 - ・食に関わる内容に係る全学年教科授業への積極的な関連

(4) 持続可能な連携

- ① 現代社会の変化を踏まえた地域連携の在り方についての検討、実践
 - ・学校運営委員会から学校運営協議会への移行、推進
 - ・保護者との情報共有、情報連携への工夫、改善
- ② 積極的な情報発信と学校評価
 - ・マチコミメール、ホームページ、学校だよりの活用
 - ・授業公開 ・学校行事の精選、工夫についての情報発信
 - ・保護者、児童、職員の教育活動に関する評価の実施、結果分析の公表

(5) 教職員の心身の健康保持

- ・安全衛生委員会による主体的検討と実践
- ・勤務時間の客観的管理
- ・会議、業務推進の効率化、校務分掌の整理、ICT 機器、環境の活用
- ・「学校」の役割と責任の明確化

8 子どもも教師も輝ける学校づくり ― 学校教育ができること ―

(1) 佐倉型カリキュラム・マネジメントの推進によるカリキュラム・オーバーロード課題の改善

(2) 「学校」の役割と責任の明確化

- ・教職員の健康管理 ・家庭の教育方針の尊重
- ・最も重要なことに使う時間を確保すること